

○社会福祉法人登米市社会福祉協議会
ボランティア協力校指定事業実施要綱

平成17年12月19日制定

平成30年 3月 1日改正

(目的)

第1条 この要綱は、社会福祉法人登米市社会福祉協議会（以下「本会」という。）が指定する小学校、中学校、高等学校の児童・生徒に対し、公共心や社会連帯意識を高め、住みよい明るい社会を築くために児童・生徒会、委員会、クラブ活動の中での社会奉仕活動を行うことにより、豊かな人間形成を図るためボランティア協力校（以下「協力校」という。）指定事業について必要な事項を定めることを目的とする。

(指定の対象及び期間)

第2条 協力校指定事業の対象は、登米市内の小学校、中学校、高等学校とする。

2 協力校指定期間は、1年間とする。ただし、再指定を妨げない。

(協力校における活動等)

第3条 協力校においてそれぞれの当該地域の事情に併せ、独自の工夫と計画に基づき、概ね次のような活動を行う。

- (1) 社会福祉についての学習、調査、研究活動
- (2) 福祉講演会、映画会、展示会等の開催による啓発活動
- (3) 社会福祉施設等への訪問、見学及びボランティア活動
- (4) 地域社会で生活している高齢者、障害児者などとの交流及びボランティア活動
- (5) 社会福祉関係行事への参加及びボランティア活動
- (6) 学校（学級）新聞等の作成及び配布の広報活動
- (7) 体育祭、文化祭等学校行事への高齢者、障害児者などを招待する活動
- (8) キャラクターコンディ体験活動
- (9) 家庭、地域社会への啓発活動
- (10) その他、必要な活動

(指定助成金及び対象経費)

第4条 協力校の活動経費として、次のとおり助成金を交付する。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| (1) 小学校児童100人未満 | 年額 30,000円以内 |
| (2) 小学校児童100人以上200人未満 | 年額 50,000円以内 |
| (3) 小学校児童200人以上 | 年額 80,000円以内 |
| (4) 中学校 | 年額 80,000円以内 |
| (5) 高等学校 | 年額 80,000円以内 |

2 協力校に必要な活動経費は、旅費、謝金、消耗品費、通信運搬費、会議費、印刷製本費、備品費、調査研究費とする。

(助成金の申請及び交付)

第5条 助成金の交付を受けようとするものは、[協力校活動助成金交付申請書\(様式第1号\)](#)を本会会長に提出するものとする。

2 本会会長は、協力校活動助成金交付申請書を受けた後、内容を調査し適当と認めた場合は当該学校長に[指令書\(様式第2号2\)](#)を交付した後、助成金を原則として口座振替により交付する。

(活動報告)

第6条 助成金を受けた学校長は、当該年度終了後直ちに[協力校活動報告書\(様式第3号\)](#)により活動及び経費精算を本会会長に報告するものとする。

附 則

この要綱は、平成17年12月19日から施行し、平成17年1月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成30年3月1日から施行する。

ボランティア協力校活動助成金交付申請書

学校の概要	児童・生徒数		教職員数	
活動の計画	事業名	内 容		
予算の概要	収 入	円	支 出	円
	内訳 社協助成金 その他	円 円	内訳 旅 費 謝 金 消耗品費 通信運搬費 会議費 印刷製本費 備品費 調査研究費	円 円 円 円 円 円 円 円

社会福祉法人登米市社会福祉協議会ボランティア協力校指定事業実施要綱第5条に基づき上記のとおり申請します。

平成 年 月 日

TEL ()

住 所 _____

学校名 _____

校長名 _____ (印)

社会福祉法人 登米市社会福祉協議会長 殿

登米社協指令第 号
平成 年 月 日

学校名

代表者

殿

社会福祉法人登米市社会福祉協議会
会 長

平成 年 月 日付け、第 号で申請のあった平成 年度
助成金については、ボランティア協力校指定事業実施要綱第 条の規定により、下記条件
を付して 円を交付する。

1. 指定期間 平成 年 月 日 から平成 年 月 日

2. 交付条件

- ①福祉教育の普及に務めること
- ②児童・生徒の福祉意識高揚に務めること
- ③活動終了後、活動報告書を登米市社会福祉協議会会長宛提出すること

領 収 書

一金 円也

但し、平成 年度ボランティア協力校活動助成金として正に受領いたしました。

平成 年 月 日

住 所 _____

学校名 _____

学校長名 _____ 印

社会福祉法人 登米市社会福祉協議会

会 長 殿

※本領収書は現金払い時のみ使用し、口座振替時は不要とする。

様式第3号（第6条関係）

ボランティア協力校活動報告書

事業名	活動内容	評価
経費の報告	収入 円	支出 円
	内訳 社協助成金 円 その他 円	内訳 旅費 円 謝金 円 消耗品費 円 通信運搬費 円 会議費 円 印刷製本費 円 備品費 円 調査研究費 円

登米社協指令第 号により助成を受けた事業について、上記のとおり報告します。

平成 年 月 日

TEL ()

住所 _____

学校名 _____

校長名 _____ (印)

社会福祉法人 登米市社会福祉協議会長 殿